

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

「春のフィールド言語学フェスタ」

開催のお知らせ・募集要項

このワークショップは主に少数言語・危機言語のフィールドワーク、ドキュメンテーションを行う研究者・学生の皆様のネットワーク構築・研究支援を目的とする3日間のワークショップです。本研究所の研修事業（次世代研究者養成事業）の一環として、言語学プロジェクト LingDy3「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築」企画により開催します。

記

1. 開催日時：2020年2月26日（水）～28日（金）
開催時間については添付のプログラムをご参照ください。
2. 開催場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）
マルチメディア会議室（3F・304）
3. 参加資格：テーマに関心のある研究者・学生（大学院生以上を原則とします）
4. 定員：10名程度
5. 参加申込方法：2日目（全日）・3日目（午前）参加希望の方のみ、お申し込みください。
1日目（公開講演）だけに参加される場合は申し込み不要です。
なお、3日目午後は非公開です。募集は行いません。
 - 下記 URL にアクセスし、フォームに必要事項をご記入ください。
<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/200226-flws/>
右記 QR コードからもアクセスできます。
 - 申込フォームの「その他」に、専門分野、使用するコンピュータの OS (Win/Mac) とそのバージョン、および希望される参加日程を明記してください。
 - 折り返し自動返信メールが届きますので、ご確認ください。
6. 申込締切：2月25日（火）午前 10:00（ただし定員に達し次第締め切ります）
7. 問い合わせ先：「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」事務局
[info-lingdy\[at\]aacore.net](mailto:info-lingdy@aacore.net)（[at]を@に変えて送信してください）
8. その他：
 - 1日目は英語、2日目と3日目は日本語でおこないます。参加は無料です。
 - 2月27日、28日午前のプログラムではパソコンを用いた実習を行いますので、各自パソコンをお持ちください。両日のテーマの中で具体的に知りたい内容がある方は申込フォームの「その他」にお書きください。可能な限り対応いたします。
 - プログラムの詳細は次ページをご覧ください。



※ご不明な点がございましたら、上記「7. 問い合わせ先」までご連絡ください。

※過去のテクニカル・ワークショップにつきましては、

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/data-pro-ws> をご覧ください。

主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

以上

「春のフィールド言語学フェスタ」プログラム

2月26日（1日目）

公開講演「辞書編纂の様々な試み」（14:00-17:00） #公開・申込不要

言語知識の集積の最もわかりやすい形の一つである辞書の編纂において、近年様々な新しい試みがなされています。辞書編纂の最先端を3人の講演者に語っていただきます。

14:00-14:10 趣旨説明

14:10-15:00 Izumi Hoshi (ILCAA, TUFS) “Building a Thesaurus of Cultural Vocabulary Collaboratively: In Case of a Dictionary of Tibetan Pastoralism”

15:10-16:00 Alexander Coupe (Nanyang Technological University) “On creating dictionaries for unwritten languages: fieldwork methodologies for community-based dictionary workshops”

16:10-17:00 David Moeljadi (Palacký University Olomouc) “Building and Developing the Kamus Besar Bahasa Indonesia (KBBI) Indonesian Dictionary Database”

2月27日（2日目）

言語ドキュメンテーションに関するワークショップ（10:30-16:00）

#公開・要申込：募集要項5参照

少数言語・危機言語のデータを記録する試み「言語ドキュメンテーション」に関して、その理念を伝える講義と具体的な手法に関する実習を行います。

10:30-11:15 塩原朝子 (AA 研) 「言語ドキュメンテーションの理念と実際」（講義）

11:15-12:00 児倉徳和 (AA 研) 「よりよいドキュメンテーションのための録音」（講義と実習）

13:00-14:30 児倉徳和 (AA 研) 「データマネジメントの手法」（講義と実習）

14:45-16:00 塩原朝子 (AA 研) 「データアノテーションソフト ELAN の使い方」（講義と実習）

2月28日（3日目）

研究を見せる方法（10:30-12:30） #公開・要申込：募集要項5を参照

「プレゼンテーション」をテーマに、内容の選択、設計、発表の技法、デザインの技法を扱います。より効果的なプレゼンテーションとするために必要な考え方や技法を伝えます。

10:30-11:00 青井隼人 (AA 研特任研究員, 国立国語研究所) 「スライドデザイン, その前に問いかけてたい3つのこと」

11:00-12:30 大槻知世 (AA 研特任研究員) 「デザインの工夫: 効果的に伝えるために」

春のインターゼミ（13:30-16:00）

#非公開：参加者募集は行いません。